



夜、外に出ると虫の声が聞こえます

9月に入っても暑い日が続いています。30度を超える日が続いています。私が中学生の頃は、8月の終盤になると、「寝冷えに注意下さい。」と言われたものです。夜になると気温が下がって涼しくなるからです。お腹を出して寝ていると冷やされて、お腹が痛くなったものです。

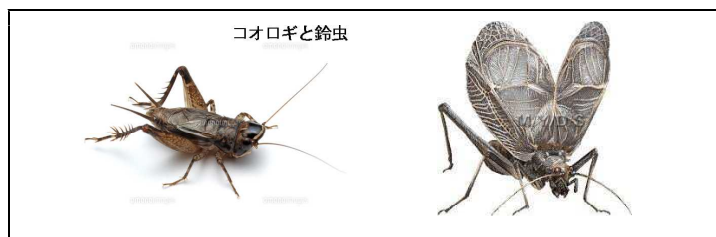
夕方になると縁側に涼しい風が吹いてきて気持ちがよかったです。8月の終わりのころから夜になると草むらで鈴虫やコオロギなどが一斉に鳴きだして、秋を感じました。電気を消して布団に入ると真夏の寝苦しさと違って、涼しい風が網戸を抜けてカーテンを揺らします。涼しい風が家の中に入ってくると「いい風だね」と母がよく言ってました。じめじめしていないさわやかな風です。風と一緒に虫の鳴き声も聞こえてきます。特に鈴虫の鳴き声はきれいでした。「いい声だね」と母が独り言をいいます。鈴虫の声を聞きながらいつの間にか寝てしまったものです。

虫かごで鈴虫を飼っていて、夜になると家の中で鳴いていました。そういえば、今は鈴虫を飼っている家もほとんどないと思います。虫かごの中の土にナスやきゅうりを楊枝でさして餌とします。霧吹きをかけて、湿らせておきます。昔は、多くの家で鈴虫を飼っていたものです。

また、夏には縁側の軒先には風鈴をつるして、「チーンチーン」と風で揺れた風鈴の音を楽しんだものです。涼しい秋になると軒先の風鈴を外します。私が中学校の時にはエアコンなどはありませんでした。夏は、風鈴の音で心で涼しさを感じたり、夏の終わりには虫の声で秋を心で感じたりしたものです。

現在ではエアコンが各家庭に普及して、真夏でも部屋は涼しくなりました。エアコンの普及とともに、風鈴を軒先に下げる家も消えていきました。そして、虫を飼う家も減っていきました。心で涼しさを感じる必要がなくなり、実際に部屋の温度を下げることになったのです。9月に入ってから、相変わらず暑い日が続いていますが、庭の虫たちは秋の訪れを知らせています。エアコンを効かせて、窓を締め切る生活で、虫の声を聞くこともなくなりました。テスト勉強で遅くまで頑張っている人が多いと思います。勉強の合間にそっと部屋の窓を開けてみてください。コオロギや鈴虫などの虫の声が聞こえてくるはずです。いつの間にか蟬の声から虫の声に移ります。秋を感じてみてください。

*コオロギや鈴虫の声を知らない人は、鳴き声を検索して聞いてみてください。



来週は第二回テストがあります。テストが終わると直ぐに、前期の成績をつけます。夏休み前の三者面談では、4月から7月までの中で5教科は評価を出しましたが、技能教科は評価資料が少なく評価を出すことができませんでした。10月6日に渡す通知表では3年生の市ry法が少なく」技能強化の第一回のテスト前期の成績は技能供養かも